



Press release

2020年2月14日

アクサ・ホールディングス・ジャパン、 2019年度第3四期末の業績を発表

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO:安淵 聖司)は、日本の会計基準に基づく2019年度(令和元年度)第3四半期末の連結業績を発表しました。

収入指標

- ・ 連結保険料等収入は前年同期比 4.3%増の 5,139 億円。

収益指標

- ・ 連結純利益は前年同期比 671%増の 239 億円。

財務基盤

- ・ 連結ソルベンシー・マージン比率は 824.4%。

各社の2019年度第3四半期末業績の詳細については、各社ホームページをご参照ください。

アクサ生命: <https://www.axa.co.jp/news/2020/20200214>

アクサ損害保険: https://www.axa-direct.co.jp/company/official_info/pr/2020/200214.html

アクサダイレクト生命: https://www.axa-direct-life.co.jp/news/2020/news_200214.html

※ 当社アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社は、2019年4月1日に当社の完全子会社であるアクサ生命保険株式会社を主体とした単独株式移転の方法により設立された新設会社となります。従って、当社を親会社とする前連結会計年度末及び前連結会計期間の数値は存在しませんが、2019年3月期まで継続的に開示を行ってきたアクサ生命保険株式会社を親会社とする連結数値を比較情報として開示することが、当社グループの業績等の推移を理解するのに資すると考えましたので、当該数値を比較情報として開示しております。

アクサ・ホールディングス・ジャパンについて

アクサ・ホールディングス・ジャパンはAXAのメンバーカンパニーとして、2019年に設立された保険持株会社です。傘下にアクサ生命、アクサ損害保険、アクサダイレクト生命の3社を擁しています。

AXAグループについて

AXAは世界63ヶ国で17万1,000人の従業員を擁し、1億500万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく2018年度通期の売上は1,028億ユーロ、アンダーライティング・アーニングスは62億ユーロ、2018年12月31日時点における運用資産総額は1兆4,238億ユーロにのぼります。AXAはユーロネクスト・パリのコンパートメントAに上場しており、AXAの米国預託株式はOTC QXプラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス(DJSI)やFTSE4GOODなどの国際的な主要SRIインデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ(UNEP FI)による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

*上記のAXAグループ数値は2018年度のもの

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします:

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社

広報部

電話:03-6737-7140

FAX:03-6737-5964

<http://www.axa-holdings.co.jp/>

保険持株会社及びその子会社等の状況

※当社アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社は、2019年4月1日に当社の完全子会社であるアクサ生命保険株式会社を主体とした単独株式移転の方法により設立された新設会社となります。従って、当社を親会社とする前連結会計年度末及び前連結会計期間の数値は存在しませんが、2019年3月期まで継続的に開示を行ってきたアクサ生命保険株式会社を親会社とする連結数値を比較情報として開示することが、当社グループの業績等の推移を理解するのに資すると考えましたので、当該数値を比較情報として開示しております。

・2018年度数値：アクサ生命保険株式会社を親会社とする連結数値

・2019年度数値：アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社を親会社とする連結数値

(1) 主要な業務の状況を示す指標

(単位：百万円)

項目	2018年度第3四半期連結累計期間	2019年度第3四半期連結累計期間
経常収益	583,595	676,773
経常利益	13,361	44,012
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,108	23,963
四半期包括利益	△9,909	22,110

項目	2018年度末	2019年度第3四半期連結会計期間末
総資産	7,292,392	7,497,923
ソルベンシー・マージン比率	731.7%	824.4%

(2) 連結範囲及び持分法の適用に関する事項

連結子会社数	3社
持分法適用非連結子会社数	1社
持分法適用関連会社数	—

(3)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	2018年度末 要約連結 貸借対照表 (2019年3月31日現在)	2019年度 第3四半期連結 会計期間末 (2019年12月31日現在)	科目	期別	2018年度末 要約連結 貸借対照表 (2019年3月31日現在)	2019年度 第3四半期連結 会計期間末 (2019年12月31日現在)
		金額	金額			金額	金額
(資産の部)				(負債の部)			
現金及び預貯金		129,613	132,287	保険契約準備金		5,395,410	5,517,344
債券貸借取引支払保証金		5,374	5,897	支払備金		73,207	70,481
有価証券		6,572,802	6,745,354	責任準備金		5,313,063	5,438,406
貸付金		110,101	110,275	契約者配当準備金		9,139	8,455
有形固定資産		5,518	5,243	代理店借		1,720	2,440
無形固定資産		72,335	62,356	再保険借		125,897	139,852
のれん		53,641	42,090	債券貸借取引受入担保金		870,686	956,300
その他		18,694	20,265	その他負債		277,966	285,735
代理店貸		22	8	退職給付に係る負債		48,342	47,897
再保険貸		150,227	177,723	役員退職慰労引当金		750	739
その他資産		246,767	259,148	価格変動準備金		43,817	45,586
貸倒引当金		△371	△372	繰延税金負債		48,141	42,249
				負債の部合計		6,812,734	7,038,145
				(純資産の部)			
				資本金		85,000	85,000
				資本剰余金		46,566	46,538
				利益剰余金		80,251	62,253
				自己株式		—	△2
				株主資本合計		211,817	193,790
				その他有価証券評価差額金		183,633	182,147
				繰延ヘッジ損益		83,738	83,639
				退職給付に係る調整累計額		469	200
				その他の包括利益累計額合計		267,840	265,987
				純資産の部合計		479,658	459,777
資産の部合計		7,292,392	7,497,923	負債及び純資産の部合計		7,292,392	7,497,923

(4)四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	2018年度第3四半期 連結累計期間 (2018年4月1日から 2018年12月31日まで)	2019年度第3四半期 連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年12月31日まで)
		金額	金額
経常収益		583,595	676,773
保険料等収入		492,646	513,987
資産運用収益		87,546	157,244
(うち利息及び配当金等収入)	(74,861)	(64,533)
(うち有価証券売却益)	(12,567)	(40,494)
(うち特別勘定資産運用益)	(—)	(52,205)
その他経常収益		3,402	5,541
経常費用		570,234	632,760
保険金等支払金		337,856	354,647
(うち保険金)	(66,056)	(67,683)
(うち年金)	(64,096)	(63,387)
(うち給付金)	(72,423)	(70,759)
(うち解約返戻金)	(109,848)	(120,907)
責任準備金等繰入額		39,212	125,353
責任準備金繰入額		39,200	125,342
契約者配当金積立利息繰入額		11	10
資産運用費用		66,987	20,600
(うち支払利息)	(164)	(68)
(うち有価証券売却損)	(7,083)	(6,815)
(うち有価証券評価損)	(130)	(396)
(うち金融派生商品費用)	(20,108)	(8,078)
(うち特別勘定資産運用損)	(35,177)	(—)
事業費		115,030	118,022
その他経常費用		11,147	14,136
経常利益		13,361	44,012
特別利益		5	—
その他特別利益		5	—
特別損失		1,938	2,021
固定資産等処分損		128	251
減損損失		11	1
価格変動準備金繰入額		1,798	1,768
契約者配当準備金繰入額		4,737	3,760
税金等調整前四半期純利益		6,691	38,231
法人税及び住民税等		5,432	19,438
法人税等還付税額		△1,253	—
法人税等調整額		△595	△5,171
法人税等合計		3,583	14,267
四半期純利益		3,108	23,963
親会社株主に帰属する四半期純利益		3,108	23,963

四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	2018年度第3四半期 連結累計期間 (2018年4月1日から 2018年12月31日まで)	2019年度第3四半期 連結累計期間 (2019年4月1日から 2019年12月31日まで)
		金額	金額
四半期純利益		3,108	23,963
その他の包括利益		△13,017	△1,853
その他有価証券評価差額金		△18,576	△1,485
繰延ヘッジ損益		5,256	△98
退職給付に係る調整額		303	△268
四半期包括利益		△9,909	22,110
親会社株主に係る四半期包括利益		△9,909	22,110

注記事項

(四半期連結貸借対照表及び連結株主資本等変動計算書関係)

2019年度第3四半期連結会計期間末

1. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期連結貸借対照表価額は、832,845百万円であります。
 2. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。

①当連結会計期間期首現在高	9,139百万円
②当第3四半期連結累計期間契約者配当金支払額	4,453百万円
③利息による増加等	10百万円
④契約者配当準備金繰入額	3,760百万円
⑤当第3四半期連結会計期間末現在高	8,455百万円

3. 配当金支払額

2019年6月11日の取締役会において、以下のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

①配当金の総額	41,961百万円
②1株当たり配当額	5,380円
③基準日	2019年3月31日
④効力発生日	2019年6月25日

4. 株主資本の金額の著しい変動

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当連結会計期間期首残高	85,000	46,566	80,251	—	211,817
当第3四半期連結会計期間末までの変動額					
剰余金の配当			△41,961		△41,961
四半期純利益			23,963		23,963
自己株式の取得				△29	△29
自己株式の消却		△27		27	—
当第3四半期連結会計期間末までの変動額合計	—	△27	△17,997	△2	△18,027
当第3四半期連結会計期間末残高	85,000	46,538	62,253	△2	193,790

5. 単独株式移転による持株会社の設立

アクサ生命保険株式会社は、2019年1月24日開催の取締役会において、臨時株主総会での承認及び関係当局の認可を前提として、2019年4月1日に単独株式移転の方法により純粋持株会社(完全親会社)であるアクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社(当社)を設立することを決議しました。

その後、同年2月28日の臨時株主総会において株式移転計画が承認され、また、同年3月26日に保険会社を子会社とする持株会社の設立認可を得たことにより、持株会社の設立を行いました。

(1) 取引の概要

① 結合当時企業の名称及びその事業の内容

株式移転完全子会社

名称 アクサ生命保険株式会社

事業の内容 生命保険事業

株式移転設立完全親会社

名称 アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社

事業の内容 生命保険及び損害保険事業等を行う当グループ会社の経営管理及びそれに付帯する業務

② 企業結合日

2019年4月1日

③ 企業結合の法的形式

単独株式移転による持株会社設立

④ 結合後企業の名称

アクサ・ホールディングス・ジャパン株式会社

⑤ 取引の目的

アクサ生命保険株式会社は、2014年10月1日に、重複したガバナンスを効率化することを目的として、保険持株会社であったアクサジャパンホールディング株式会社(現アクサ生命保険株式会社)を存続会社とし、旧アクサ生命保険株式会社を消滅会社とする吸収合併を行うことにより、保険持株会社から生命保険会社へと業態変更を行いました(同日付で、存続会社であるアクサ生命保険株式会社は、生命保険事業の認可を得て商号をアクサ生命保険株式会社に変更しております。)

しかしながら、2014年以降の経営を取り巻く急激な変化は当時の想定を超えるものとなっており、現状において、マイノリティー出資、合併、子会社化、資本業務提携等の機会をとらえて柔軟かつ機動的に実行し、また、保険会社間での資本提携を含む各種提携、M&Aさらには他企業グループとの合併会社設立など、資本政策に柔軟性を持たせることは戦略上の必須の要請であり、かかる要請に応えるためには、再度、保険持株会社を設立することが必要であるとの認識に至りました。

(2) 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理しました。これによる損益の影響はありません。なお、本株式移転によるのれんの発生はありません。

6. 子会社株式の配当による組織再編

アクサ生命保険株式会社は、2019年1月24日開催の取締役会において、2019年4月1日に単独株式移転の方法により純粋持株会社(完全親会社)である当社を設立し、同日付でアクサ生命保険株式会社が保有する子会社株式について現物配当を実施することを決議し、実施しました。

(1) 現物配当の目的

アクサ生命保険株式会社を含む各会社が、持株会社である当社の傘下に入ることにより、グループ企業間の戦略の策定や調整については持株会社にて実施することが可能となります。また、横断的なガバナンスの強化と向上を図ることも目的としています。

(2) 剰余金の処分について

アクサ生命保険株式会社は、その他資本剰余金を原資として、保有する子会社株式を現物配当しました。当社に対する配当財産の種類は、金銭以外の財産(普通株式)であり、直前帳簿価額は以下のとおりです。

会社名	株数	帳簿価額 (2019年3月31日現在)
アクサ損害保険株式会社	344,430株	19,826百万円
アクサダイレクト生命保険株式会社	1,894,614株	
アクサ収納サービス株式会社	200株	

(四半期連結損益計算書関係)

- 1株当たり四半期純利益は3,072円63銭であります。
- 当第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(賃貸用不動産等減価償却費を含む)は3,953百万円、のれんの償却額は11,550百万円であります。

(5)連結ソルベンシー・マージン比率

(単位:百万円)

項目	2018年度末	2019年度 第3四半期連結 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	619,590	727,088
資本金等	97,499	151,699
価格変動準備金	43,817	45,586
危険準備金	41,969	41,750
異常危険準備金	2,142	1,761
一般貸倒引当金	159	157
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90%(マイナスの場合100%)	229,541	227,683
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	527	652
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額	651	279
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	223,629	229,425
負債性資本調達手段等	—	—
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△38,200	—
控除項目	—	—
その他	17,852	28,091
リスクの合計額 $\sqrt{(\sqrt{R_1^2+R_5^2+R_6+R_9})^2+(R_2+R_3+R_7)^2}+R_4+R_6$ (B)	169,346	176,371
保険リスク相当額 R ₁	11,939	12,031
一般保険リスク相当額 R ₅	6,427	6,566
巨大災害リスク相当額 R ₆	1,262	1,615
第三分野保険の保険リスク相当額 R ₈	7,286	7,358
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R ₉	—	—
予定利率リスク相当額 R ₂	34,715	33,942
最低保証リスク相当額 R ₇	6,505	7,716
資産運用リスク相当額 R ₃	121,737	127,851
経営管理リスク相当額 R ₄	3,797	3,941
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	731.7%	824.4%

(注)1. 上記は、保険業法施行規則第86条の2、第88条及び2011年金融庁告示第23号の規定に基づいて算出しています。

2. 最低保障リスク相当額の算出に際しては、標準的方式を用いています。

(6)セグメント情報

当グループは、報告セグメントが生命保険事業のみであります。なお、生命保険事業以外に損害保険事業等を営んでおりますが、当該事業の全セグメントに占める割合が僅少であるため、セグメント情報の記載を省略しております。